

報道機関各社 様

札幌市路面電車事業における上下分離の導入について

札幌市の路面電車(市電)は令和2年4月1日から、路面電車事業の上下分離制度を導入し、(一財)札幌市交通事業振興公社が運送事業を担います。

これまでの事業者である札幌市交通局から、安全な運行をしっかりと継承しながら、今後、新たなお客さまサービスにも取り組んでいくことを通して、路面電車を将来世代に引き継ぎ、札幌のまちづくりに貢献していきます。

1 運送事業開始日

令和2年4月1日から

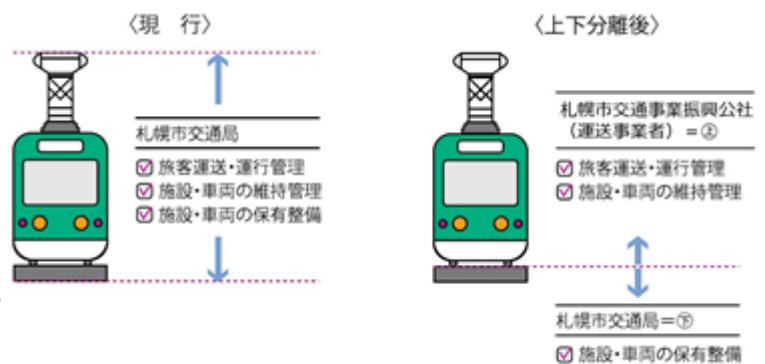
2 上下分離の仕組み

上下分離とは、旅客運送主体と施設・車両の保有整備主体を切り分け、それぞれが運送、整備の免許(特許)を取得して事業を営む仕組みです。

従来は、交通局がこれらの業務を一体で行ってききましたが、今後は、公社が旅客運送を、交通局は施設・車両の保有整備を担うこととなります。

なお、上下分離の詳細につきましては、交通局 HP をご覧ください。

URL: <https://www.city.sapporo.jp/st/shiden/jyougebunri.html>



3 路面電車の利用について(運賃・運行ダイヤ等の各種サービス)

路面電車の運賃や運行ダイヤは、これまでと変わりなくご利用いただけます。利用にかかる運賃等の詳細につきましては、当公社ホームページ(情報掲載は4月1日から)等で発信いたします。

【運賃、運行情報などの各種サービスに関するお問い合わせ先(4月～)】

札幌市交通事業振興公社 路面電車部 011-551-3944

URL: <https://www.stsp.or.jp>

※3月中は、札幌市交通局のホームページ等をご確認ください。

4 上下分離のメリット、今後の公社の取組について

上下分離の導入により、安全管理体制の維持・継続がなされるとともに、以下に記載する利用者サービスの向上など公社の取組みが期待されています。また、交通局が引き続き施設・車両の保有整備を担うことで、路面電車を札幌市のまちづくりに活用し、安全で便利な公共交通機関としての役割を維持し、両事業者が協力して、路面電車を将来世代へ引き継いでまいります。

【公社の今後の取組み】

(1) 安全管理体制の継承

札幌市交通局が築き上げてきた安全管理体制をしっかりと継承し、安全・安心して利用できるサービスを継続していきます。また、新型コロナウイルス対策につきましても、札幌市の地下鉄事業とも情報を共有しながら、しっかりとした対応を行っていきます。

(2) 新たな乗車券の導入

以下のような乗車券等のサービスの実施に向けて検討を進めていきます。

- ・ どサンパス等の乗車券のモバイル利用や観光客を対象とした新たな企画乗車券の販売
- ・ 小学生が夏休みなど一定期間乗り放題となる乗車券

(3) 様々なイベント・企画の実施

ビールサーバーを搭載したビール電車の運行など貸切電車を活用した企画電車や市電フェスティバルなど電車自体の魅力を活用したイベントの実施により、まちの賑わい創出に貢献していきます。

また、企画実施にあたっては、沿線の事業者をはじめ、様々な事業者との連携により、沿線の地域振興にも貢献していきます。

(4) 路面電車の魅力発信

札幌のまちの発展とともに歩んできた路面電車は、まちの風景を彩り、ササラ電車は冬の風物詩にもなっています。

その路面電車の魅力を、様々な媒体を活用し積極的に発信することで、路面電車が走るまち札幌の魅力を国内外にPRしていきます。



5 上下分離後の路面電車の取材対応など

4月からの運行やイベントに関わる問い合わせや取材、撮影等は、以下にご連絡をお願いいたします。

【取材、撮影等の窓口(4月～)】

一般財団法人札幌市交通事業振興公社 総務企画部総務課庶務係 広報担当

TEL:011-251-0821 FAX:011-251-0829 Mail:romendensha.com@stsp.or.jp

【本プレスリリースに関する問い合わせ】

一般財団法人札幌市交通事業振興公社 総務部 阿部 吉田 TEL:011-251-0824

札幌市交通局 事業管理部事業推進担当課 月宮 佐々木 TEL:011-896-2706

